

(1) 徹底した感染防止等の準備		
1	参加者への事前通知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会など開催日前日までに参加者へ注意喚起ができています ・ 接触確認アプリ「COCOA」通知サービスの奨励
2	受付時の問診と確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受付時に体温確認ができる
3	参加者の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握
4	参加者の制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入場時の検温、入場を断った際の払い戻し措置
(2) 基本的な感染防止等		
5	マスク着用の担保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不織布マスクの着用状況が確認でき、個別に注意等ができる * 不織布マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で配布
6	大声を出さないことの担保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大声を出さず者がいた場合、個別に注意等ができる * 隣席の者との日常会話程度は可（マスクの着用が前提） * 講師と参加者までの一定の距離を確保（2mを推奨。困難であれば最低1.5m）
7	手洗い・消毒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出入口には必ず消毒備品等を設置し、受講者の手洗いや手指消毒等の徹底を図る ・ 主催者側による手がよく触れるところ(出入り口のドアノブ、電気のスイッチ、机、椅子等)のこまめな消毒、消毒液の設置、手指消毒
8	換気	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令を遵守した空調設備の設置、こまめな換気 1時間に1回以上及び1回5分以上または、室温が下がらない範囲で常時窓あけを行う
9	密集の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座席位置や利用場所の配置を工夫するなど、人と人との間隔（2mを推奨。困難であれば最低1m）を確保する ・ 入退場時の密集回避（時間差入退場等）、休憩時間や待合場所等の密集回避 ・ 受付、トイレ等の密集が回避できない場合は、収容人数の制限 ・ 受付、トイレ等の行列ができる可能性がある場所には、誘導員の配置、マークの設置等により、混雑時の密にならない程度の間隔（2mを推奨。困難であれば最低1m）を確保する
10	密接の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・ PCなどの器具等を共有で使用する場合、予め使用者を割り振り、誰が何を使用したか分かるように工夫する ・ 実演モデルが必要な場合、予めモデルを決め、当人の承諾を得る（当日に参加者やスタッフ等から選ぶことのないようにする） ・ 講師の実技デモンストレーション等で参加者が接近しないように注意喚起を行う。映像を拡大して映す等の工夫を推奨する ・ グループワークの場合、向かい合った際の人と人との間隔の確保（2mを推奨、最低1m）空け、飛沫予防のためのアクリル板等の設置を推奨する。 ・ 実技の場合のみ、人と人との距離に制限は設けませんが、会話等に注意を促し、実技前後で手指消毒を徹底する。 ・ 実技相手は最小人数とし、その相手以外の参加者との実技は行わない。 ・ 実技相手の組み合わせは、事業運営管理者が事前に指定するか、又は、実技相手を特定できる用紙等（仮称：実技参加者表）を作成し終了時に集約する。 ・ テキスト資料等の配布は手渡しで行うことは避け、机上に予め設置するなど、据え置き方式で行う
11	飲食の制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限、及び飲食時の会話について注意喚起 ・ 休憩時間中及び研修会・学会前後の食事等による感染防止の徹底
12	演者の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有症状者（発熱または風邪等の症状を呈する者）は出演を控える
13	開催前後の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会・学会前後の感染防止の注意喚起を行う
14	ガイドライン遵守の旨の公表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主催者及び施設管理者が、感染防止ガイドラインに従った取組を行う旨、HP等で公表する
(3) 研修会等開催の共通の前提		
14	入退場やエリア内の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の入退場や区域内の行動管理を行い、行動管理ができないものは開催を慎重に検討
15	地域の感染状況に応じた対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模研修会・学会等は、事前に収容率制限等も含めて都道府県と相談 ・ 地域の感染状況の変化があった場合は柔軟に対応